

桜井三枝子教授 略歴・業績目録

I. 略 歴

1944年3月 上海に生まれる

学 歴

1968年3月 上智大学文学部史学科卒業

1981年4月 南山大学大学院文学研究科文化人類学専攻修士課程入学

1984年3月 南山大学大学院文学研究科文化人類学専攻修士課程修了

1986年4月 関西外国語大学大学院外国語学研究科言語文化専攻博士課程入学

1989年3月 関西外国語大学大学院外国語学研究科言語文化専攻博士課程単位取得 満期退学

2005年3月 上智大学博士号取得（地域研究）（乙第239号）

職 歴

1968年3月 在東京メキシコ大使館勤務（1971年10月まで）

1973年4月 在東京パナマ大使館勤務（大使秘書）（同年11月まで）

1986年4月 関西外国語短期大学非常勤講師（1992年3月まで）

1986年4月 帝国女子短期大学非常勤講師
（1992年3月まで ただし、1988年から1990年までを除く）

1988年4月 同志社大学（田辺学舎）非常勤講師（1989年3月まで）

1988年4月 神戸市外国語大学非常勤講師（1989年3月まで）

1991年4月 大阪経済大学教養部専任講師

1994年5月 大阪経済大学教養部助教授

2000年6月 大阪経済大学教養部教授

1992年4月 大阪経済大学学生相談室運営委員会委員（1993年4月まで）

1995年5月 大阪経済大学広報委員会委員（1997年4月まで）

1997年4月 大阪経済大学自己点検・自己評価実施委員（1999年3月まで）

2001年5月 大阪経済大学国際交流委員（2003年4月まで）

2003年5月 大阪経済大学人権委員（2005年4月まで）

2008年4月 大阪経済大学人間科学研究科長（2009年3月まで）

2010年5月 大阪経済大学人権委員（2011年4月まで）

学会及び社会における活動等

1980年6月	日本ラテンアメリカ学会会員	(現在に至る)
1981年9月	日本文化人類学学会会員	(現在に至る)
1987年4月	国立民族学博物館共同研究員	(1989年3月まで)
1989年4月	国立民族学博物館研究協力者	(2000年3月まで)
1989年4月	日本・スペイン・ラテンアメリカ学会会員	(現在に至る)
1989年8月	日本民俗学会会員	(2006年まで)
1991年4月	(財)ナインティナイン・アジア留学生奨学基金評議員	(現在に至る)
1991年4月	説話・伝承学会会員	(現在に至る)

Ⅱ. 業績目録

Ⅰ. 著書

- 「マヤの祝祭儀礼」『メソアメリカ世界』(小林致広編)世界思想社, 1995年
- 「マヤの神, ラディーノの神」『文化人類学, 変貌する社会』ミネルヴァ書房, 1997年
- 『祝祭の民族誌』全国日本学士会, 1998年, 京都
- 「マヤ系先住民社会の女性」『ラテンアメリカ 新しい社会と女性』(国本伊代編)新評論, 2000年
- 「荒れる成人式をめぐって」『人間科学の新展開』(滝内大三編)ミネルヴァ書房, 2005年
- 『グアテマラを知るための65章』明石書店, 2006年, 2010年初版第二刷
- 「民族衣装のメッセージ性を読み解く」『ラテンアメリカの民衆文化』(加藤隆浩編)行路社, 2009年
- 『グローバル時代を生きるマヤの人々』明石書店, 2010年2月

Ⅱ. 論文

- 「X-cacal マヤ族の儀礼」『歴史と構造』第11号 南山大学大学院文化人類学研究室, 1983年3月
- 「19世紀マヤ族の反乱に関する一考察」『世界口承文芸研究』第6号, 大阪外国語大学口承文芸研究会, 1985年3月
- 「マヤのコスモロジー覚え書き」『南欧文化』第12号, 1987年1月
- 「ユカテク・マヤの「森の精」伝承」『京都民俗』第8号, 1990年12月
- “En torno al rito de “El Santo Parlante””, en *CUADERNOS*, Vol. III-IV, CANELA, 日本・スペイン・ラテンアメリカ学会, 1993年3月
- 「中米グアテマラ 南西部高地のマヤ村落におけるコフラディア(信徒集団)に関する一考察」『大阪経大論集』第44巻第4号, 1993年11月
- 「ユカタン半島南東部マヤの祝祭に関する一考察」『大阪経大論集 教養部紀要』第11号, 1993年, 12月

- 「ラテンアメリカの女性に関する文化人類学の研究動向について」『大阪経大論集』第47巻第4号, 1996年11月
- 「ソロラの民族誌(1)」『大阪経済大学 教養部紀要』第14号, 1996年12月
- 「ツトゥヒル・マヤの伝承と宇宙観」『説話・伝承学』第5巻, 1997年4月
- ‘El Rito de Maximón en la Semana Santa, Santiago Atitlán, Guatemala,’ en *Informe de las Investigaciones Etnológicas en el Centro y Sur de Guatemala 1991-1994*, Museo de Tabaco y Sal, Tokio, Japón, 1997.
- 「ソロラの民族誌(2)」『大阪経済大学 教養部紀要』第17号, 1999年, 12月
- 「エルサルバドル, サンタ・アナ県チャルチュアパ市の聖週間儀礼に関する一考察」『エル・サルバドル総合学術調査報告書』文部省科学研究費補助金(国際学術/基盤研究(A), 京都外国語大学, 2000年
- ‘Breve Informe acerca de la Semana Santa en Chalchuapa, Departamento de Santa Ana, El Salvador’, en *Chalchuapa Momoria Final de las Investigaciones Interdisciplinarias de El Salvador* 京都外国語大学, 2000年
- 「国家暴力の傷痕と先住民文化復興運動」『未来にむけた先住民族のアイデンティティの再編』神戸市外国語大学外国学研究XLVII, 2000年
- (単著) Comparaciones Culturales sobre la fiesta de La Santa Cruz de Tulum, México y el Rito de Maximón en La Semana Santa de Santiago Atitlán, Guatemala 『大阪経済大学 教養部紀要』第18号, 2000年12月。
- 「月, 湖, 織女神—マヤの女神をめぐる伝承と儀礼」『説話・伝承学』第10号, 2002年, 3月
- 「出産, 助産, 結婚に関する比較文化的考察—日本とグアテマラ先住民の事例から」『大阪経大論集』第53巻第1号, 2002年, 5月
- 「テネク・マヤ(ワステカ)文化に関する予備的研究」『大阪経大論集』第53巻第5号, 2003年, 1月
- 「マヤ研究史をたどる」『大阪経大論集』第54巻第5号, 2004年。
- “Nuevo arte de producir la imagen indigena: the Other (Otra)-dibujante y the Self (Si mismo)-mostrante,” en *Creacion y consumo de imágenes étnicas de los Mayas* (compilador Shigeto Yoshida), Grant-in Aid for Scientific Research (B)(1), 2004年, 12月
- 「マヤ・イメージ, 描く「他者」と見せる「自己」」『マヤ・イメージの形成と消費に関する人類学および歴史学的研究』平成14年~16年度科学研究費補助金・基盤研究(B)(1) 課題番号14401009, 研究成果報告書, 吉田栄人・東北大学准教授代表, 2005年, 2月
- (単著)「祝祭儀礼をめぐるマヤ系先住民社会の変貌」上智大学外国語学研究科・地域研究専攻 博士論文, 2005年3月。
- 「21世紀, 先住民マヤ女性リーダーの台頭」『大阪経大論集』第58巻第2号, 2007年, 7月

- 「グローバル都市ロスアンゼルス，生き残りを賭けて越境するグアテマラとエルサルバドルの人々」『京都民俗』第26号，2009年
- 「グローバル都市ロサンゼルス，アパレル産業に従事する中米系ヒスパニック」『イベロアメリカ研究』第XXXI巻第1号，2009年，8月

II. 翻 訳

- 『カーニバル』（Victoria R. Bricker 著，Ritual Humour in Highland Chiapas, University of Texas Press, 1975年）黒田悦子（共訳），人文書院，1986年，pp. 7-279, 287-289 総頁289の内276頁を担当

III. 国際会議・研究発表（スペイン語による研究発表のみ記載）

- “Hacer discurso sobre el rito de Maximón en Guatemala”, Museo de Popol Vuh, Universidad de Francisco Marroquin, Guatemala, marzo, 1993年8月. グアテマラ市ポ波尔・ヴフ博物館で講演
- “El rito de Maximón, Santiago Atitlán”, Tercer Congreso Internacional de Mayistas, Chetumal, México, 1995. 第三回国際マヤ学会，チェトゥマル市，メキシコ
- “Consideraciones sobre la fiesta de la Santa Cruz de Tulum, México y el rito de Maximón, Guatemala”, Simposio de “Una Guerra sin Fin: Los Cruzoob en el Umbral del Milenio”, Mérida, Yucatán, México, 1997年，カスタ戦争150年祭記念国際会議，メリダ市，メキシコ
- “Ida y vuelta de las fronteras etnicas”, Cuarto Congreso Internacional de Mayistas, La Antigua, Guatemala, 1998. 第四回国際マヤ学会，アンティグア市，グアテマラ
- “La Semana Santa en Chalchuapa, El Salvador”, Quinto Congreso Internacional de Mayistas, Jalapa, Veracruz, México, 2001. 第五回国際マヤ学会，ベラクルス市，メキシコ
- “Nuevo arte de producir la imagen indigena”, Sexto Congreso Internacional de Mayistas, Villahermosa, Tabasco, México, 2004. 第六回国際マヤ学会，ビジャエルモサ市，メキシコ

IV. 調査プロジェクト

- たばこと塩の博物館「グアテマラ中央高地と太平洋地方の学際調査プロジェクト」（1991～1994）たばこと塩の博物館・上野堅実館長およびグアテマラ共和国文化スポーツ省協賛
- 文部科学省研究補助金（国際学術）「メソアメリカの先住民の総合的研究」（1997～2000）基盤研究(A)(2)，課題番号09041034（大井邦明・京都外国語大学教授・代表）
- 文部科学省研究補助金「マヤ・イメージの形成と消費に関する人類学および歴史学的研究」（2002～2005）基盤研究(B)(1)，課題番号：14401009（吉田栄人・東北大学大学院国際文化研究科准教授・代表）

文部科学省研究補助金「日常的実践におけるマヤ言説の再領土化に関する研究」，(2007～2009) 基盤研究(B)・海外学術調査，課題番号：19401036（吉田栄人・東北大学大学院国際文化研究科准教授・代表）

V. その他（国内・国外留学）

1999年度海外留学：メキシコ社会人類学高等調査研究所（CIESAS, D. F.），客員研究員

2009年度国内留学：上智大学イペロアメリカ研究所，客員研究員